



新政会
田村 勇

集団資源回収奨励金について

【質問】 集団資源回収奨励金321万8千円の積算根拠および現状の把握はどうしているのか、また奨励金の増額を考えているか伺う。

【答弁】 集団資源回収奨励金の予算については、過去の回収量実績をもとに1kg当たり2円の単価を乗じて積算しています。

多くの町内会などで集団資源回収に積極的に取り組んでいたと思いますが、人口減少やごみ減量化の取り組みにより資源回収量が毎年前年比で2%から4%の減少が続いています。資源ごみの回収のうち半分以上が集団資源回収となっています。

集団資源回収奨励金は、町内会を通じてリサイクル循環型社会の推進だけでなく、活動団体の貴重な財源となっており、重要な取り組みと認識しています。

今後この事業は大切と認識していることから、継続していただ

くよう限られた予算内ではありますが、積算方法の見直しについて考えていきます。

【質問】 町内会の高齢化が進み集団資源回収をやめる町内会もでてきている。現在、町内会で50%以上の集団資源回収を行っているというのであれば、今後集団資源回収奨励金の単価を値上げする考えはないのか伺う。

【答弁】 やむを得ず集団資源回収をやめられる町内会は、学校のPTAの取り組みの中で共同で実施できないか働きかけをしています。

また、単価アップについては、限られた予算の中ですが、奨励金の在り方を今年度中に考えていきたいと思っています。

【質問】 すべての町内会が集団資源回収をやめて、行政が行った場合の差額はいくらかを伺う。

【答弁】 現在、収集業者へ年間約4、000万円で資源回収を委託し、3行程（3台）で行っています。すべてを巡回収集に移行した場合に何台収集車が増えるかは分かりませんが、1台につき約1、300万円の増額になります。一方で減額になるのは、町内会

への資源回収奨励金と再生資源組合の町内会収集委託料を合わせて約600万円と認識しています。

シルバー人材センター運営費補助金について

【質問】 労働行政に要する経費のシルバー人材センター運営費補助金803万円の積算根拠を伺う。

【答弁】 公益社団法人滝川市シルバー人材センターへの補助金については、国が市と同額の補助を行うことになっており、厚生労働省が示す補助限度額基準が運営費と事業費でそれぞれ決められています。

運営費については、厚生労働省が示す補助上限額533万9千円であり、同額を補助額としています。

事業費については、高齢者活用現役世代雇用サポート事業に対する派遣事業の補助対象経費の人件費を精査し、269万1千円を補助額としており、合計803万円となっています。

【質問】 補助金は、会員数の増減の影響があるのかを伺う。また、理事長および事務局長は市から定年退職後に行っているが、この任命

権者は誰になるのかを伺う。

【答弁】 積算根拠として、平均会員数と平均就業延人数でAからCまでのランクにより補助単価額が決まっており、ランク分けには会員数の増減が影響しています。また、理事長・事務局長は市からのOBという事実は把握していますが、任命は理事会や総会で決定されたものと認識しています。

公園管理費について

【質問】 公園の管理等委託料2、844万3千円のうち町内会を除いた公園委託件数および管理料、また町内会の委託管理料の積算根拠を伺う。

【答弁】 公園等管理委託料により、町内会に草刈りなどをお願いしている45か所の街区公園を除き、面積が広い河川敷地や東公園など、大規模な18か所の公園の草刈りと春先や降雪前の遊具の据付・撤去を行っています。

町内会への管理料については報償費として支出しており、新年度予算では63万7千円であり、各公園の管理面積に基づいて積算しています。